

「健街道」旧東海道箱根関所から江戸下り 第8回 ご案内 川崎駅～品川駅

歩行距離 約12Km

(実施年月日) 2018年 11月24日(土曜日)	(参加人員予定数) 参加人員 30名 スタッフ 6名	(参加費) 1名 / 1,000円 資料代・保険代・他	(運営スタッフ) 富岡秀二・目島公男・二瓶雅代 小杉正雄・小杉眞希子・川合脩司
---------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	---

集合場所 JR・川崎駅改札前・時計台にお越しください。

スタート時間 AM9時00分 (受付は8時30分)

(行程内容)

9:05 ~ 9:15	東口バスターミナルで挨拶ご小土呂橋交差点へ	
9:20 ~ 9:30	佐藤本陣からかわさき交流館で川崎宿の学習と今日の行程案内	トイレ
10:00 ~ 10:18	万年屋案内板を経て六号の渡し説明板	
10:37 ~ 11:16	六郷神社を経て蒲田本町二丁目公園で休憩	トイレ
11:32 ~ 12:22	京急・蒲田駅で昼食	トイレ
12:26 ~ 13:22	仲町児童公園で休息	トイレ
13:32 ~ 14:03	しながわ水族館経由鈴ヶ森刑場遺跡	
14:08 ~ 14:26	浜川橋(涙橋)・浜川砲台跡・坂本竜馬像	
14:30 ~ 14:54	鮫洲運動公園	トイレ
14:59 ~ 15:07	海雲寺経由品川寺	
15:12 ~ 15:33	松の広場を経て品川橋	トイレ
15:35 ~ 15:53	聖蹟公園(本陣跡)・一心寺を経て品海公園	
15:54 ~ 16:02	土蔵相模跡を經由問答河岸跡	
16:08 ~ 16:23	八ツ山橋でクールダウン後品川駅へ	
16:27	JR/京急 品川駅で解散	

(見どころ聞きどころ)

川崎宿 : 日本橋から二つ目の宿場です。東海道を制定したした後、距離が長かった品川宿～神奈川宿に川崎宿は元和九年(1623)に起立した。小土呂・砂子・新宿・久根崎4ヶ村で構成、問屋場・助郷会所・高札場・田中本陣などの施設が集中した。

かわさき交流館 : 川崎は江戸時代の宿場の面影は、ほとんど残されていない。交流館は川崎宿に関連して残る記憶と記録を掘り起こし、様々な手法を凝らし多くの人に「川崎宿」を知って頂く施設です。

六郷神社 : 天喜五年(1057)源頼義、義家の父子が、この地の大杉の梢高く源氏の白旗を掲げて軍勢をつのり石清水八幡に武運長久を祈ったところ、士気大いに奮い、前九年の役に勝利を収めたので、その分霊を勧請したのが創建と伝わる。

鈴ヶ森刑場遺跡 : 慶安四年(1651)に開設。間口40間(74m)、奥行き9間(16m)であったという。明治四年に閉鎖されるまで、220年の間に10万～20万人の罪人が処刑されたと言われている。

浜川橋(涙橋) : 1600年頃に架けられた橋と言う。江戸から鈴ヶ森刑場に向かう道中に位置していて、護送されてきた罪人をひそかに見送りに来た親族がここで涙を流しながら別れたといい、やがて橋の名も涙橋と呼ばれるようになったと言われる。

品川宿 : 慶長6年(1601)に品川湊の近くに設置され、北宿・南宿・新宿に別れていた。場所は現在の東京都品川区内で、北は京急の北品川駅から南は青物横丁駅周辺までの旧東海道沿い一帯に広がっていた。目黒川を境に、北側が「北品川宿」南側が「南品川宿」北品川の北にあった宿を「歩行新宿」(かちしんしゅく)と言った。

(中止の場合)

前日の夕刻に参加者に電話連絡する
中止の振替日は12月22日(土)です

(服装・履物・持参品)

ハイキングの服装(雨天時の傘・レインコート)・歩きやすい靴
健康保険証・名札(緊急連絡先付) 飲み物



(行程上のお願いと注意点)

- ★ JR・川崎駅集合場所で参加費のお支払いをお願い致します。
- ★ 飲料水は多めに持って、のどが渇く前に定期的にとって下さい。
- ★ 道幅が狭い狭い処では、車両の通行で危険です、スタッフの指示に必ず従って下さい。
又、トイレ箇所が少ないため指定された処で必ずお済ませ下さい。
- ★ 今行程の昼食場所は、京急・蒲田駅周辺のお食事処で召し上がって下さい。

お問い合わせ連絡先 富岡 秀二

e-mail : hideteru71166@yahoo.co.jp
TEL/FAX : 045-904-0230
携 帯 : 090-9300-3562